

山、
滴る。



t o y o c o t a k e i

w o r k s

曇りなく

千年にすめる水の面に

やどれる月の

影ものどけし

紫式部



千と勢
刈安・茜・葛・藍

さ月山卯の花月夜ほととぎす聞けども飽かずまた鳴かむかも
よみ人知らず

山、滴る。 葛・藍



春水 刘安・茜・藍

谷川のうち出ずる波も聲たてつうぐひすさそへ春の山かぜ
藤原家隆朝臣

朝の香 茜・藍・蓬・茶



残り陽 刈安・茜・蓬



十方 茜・藍・ログウッド



方寸 藍



武井豊子 略歴

1955年 大工棟梁・小嶋末五郎の娘として生まれる。

1975年 着物が放つ魅力に誘われ、信州大学繊維学部在学中より織元「会津屋」にて研究生として修業。工芸技術を徹底的にたたき込まれる。

1979年 独立。

1981年 二人展「糸と語りはじめて」NHKギャラリー。結婚。

以後、始まった民芸・クラフトブームの風の中、作家と呼ばれる事に疑問を感じはじめると同時に発表の場も意識的に持たず、流行に沿うものを職人的にこなすのではなく、人・伝統・創意・技術や材料などの調和を着物の本質に置き、葛・よもぎ・そよご・くぬぎなど、山野をかけずり廻りながらの染料集めをはじめ、図案、緋くり、染色、織り、その他細かな作業まで全ての行程をひとりで行い、注文主ひとりひとりの要望に応じながら、あくまでも草木染めを中心とした着尺・帯の一品物にこだわり、制作を続ける。

1989年 着尺・帯が通産大臣指定伝統工芸品認定となる。

1991年 一品物の所有者の協力のもと、武井豊子の仕事展「風姿花伝」をブックスロクサンギャラリーにて開催。

1996年 一品物の所有者の協力のもと、武井豊子の仕事展「山、滴る。」をブックスロクサンギャラリーにて開催。

仕事場



●長野県松本市中山1206・5 call:fax:0263・25・7100 post:code:390
●長野県松本市入山辺252 call:02693・32・4840/call:fax:0263・35・0715 post:code:390・02